

林原美術館開館45周年記念

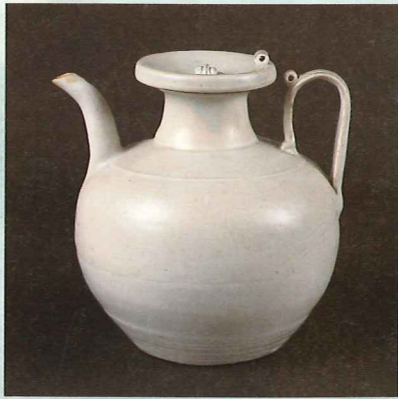
企画展 躍動と静謐の美

やく どう

せい ひつ

— 林原美術館蔵 やきものの名品 —

平成21年6月2日(火) — 7月26日(日)



青白磁唐草文水注



瓢形水指 伊賀焼



油滴天目茶碗



緑釉犬



足付盤 備前焼

- 開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで)
月曜日休館(月曜祝日の場合は翌日)
- 入館料 一般300円 高校生200円 小・中学生無料
友の会会員 無料
障害者手帳提示の方・付添者・引率者 無料
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引
- ギャラリートーク 毎週土曜日 14時から
(6月20日は15時30分から開始、6月27日はスケジュールトーク)
- 主催 財団法人 林原美術館
- 後援 岡山県郷土文化財団

林原美術館

岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

林原美術館開館45周年記念

企画展 ^{やく}躍動と^{せい}静謐の美

— 林原美術館蔵 やきものの名品 —

本展覧会では林原美術館開館45周年を記念して、当館所蔵のやきものの中から特に選りすぐりの名品を御覧いただきます。

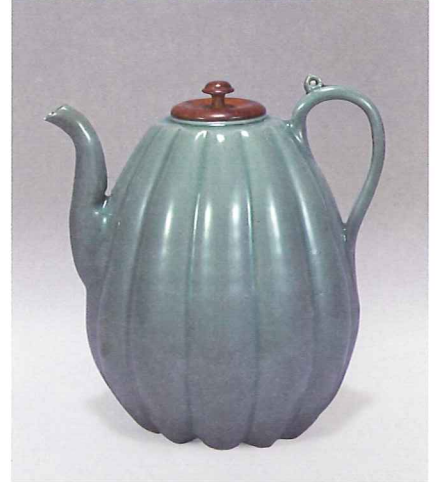
やきものは炎の芸術とも呼ばれ、長い歴史の中で生まれ、原始的にただ焼き締めたものから、様々な過程を経て、美しく彩られたものや厳しいまでの静謐さをたたえたものなど、様々な表情を見せる工芸品として人々を魅了してきました。

当館で所蔵している陶磁器は主に中国・朝鮮・日本陶磁が中心です。中国陶磁では古くは戦国時代のものを含め、白磁や三彩など飛躍的にやきものの技術が大きく開花した唐代、青磁の黄金期を迎える宋代、染付が華やかな明・元代の陶磁器を主に御覧いただきます。朝鮮陶磁は高麗青磁が中心になります。また日本陶磁器は、須恵器の流れを汲む力強い焼き締め備前焼、色絵磁器の最高峰と称される鍋島焼や柿右衛門、その他茶の湯で愛好された茶入などの道具類などがあり、日本独自のやきもの世界を作り出しました。

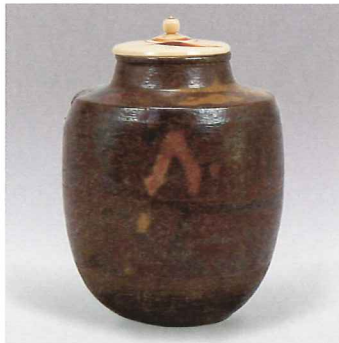
今回の展覧会はいずれもよく知られ、人々に愛された作品ばかりを出品しております。皆様のお気に入りの作品がお越しをお待ちいたしております。



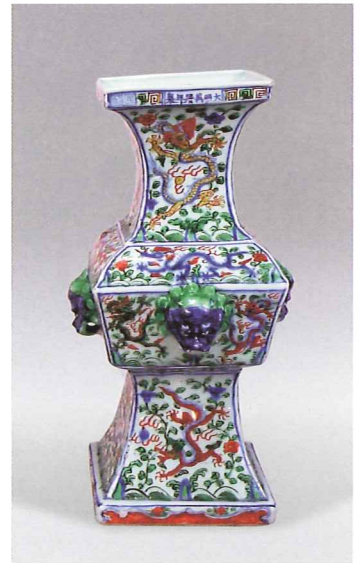
色絵房文七寸皿 鍋島焼



青磁瓜形水注



肩付茶入 銘「流」



五彩龍文方瓶



矢筈口耳付水指 備前焼

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁前下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告 林原美術館開館45周年記念

企画展「平家物語絵巻のすべて」

平成21年8月9日(日)~9月27日(日)

源平の争乱を書いた物語の代表は『平家物語』であり、当館では日本で唯一完本として揃っている『平家物語絵巻』(全36巻、越前松平家伝来)を所蔵しています。この絵巻を中心に展覧し、『平家物語』の世界を前後期に分けて全巻ご覧いただけます。